

## 平成 22 年度 首都高速道路事業評価監視委員会 議事要旨

日 時:平成 22 年 12 月 1 日(水) 10:00 ~ 11:30

場 所:首都高速道路株式会社 本社会議室

出 席:委員長 森地 茂 (政策研究大学院大学 教授)  
委員 森杉 壽芳(東北大学 名誉教授)  
山内 弘隆(一橋大学大学院商学研究科 教授)  
脇畑 賢 (社団法人日本自動車連盟 交通環境部長)  
(田中 里沙 委員(株式会社宣伝会議 取締役編集室長)は所用のため欠席 )  
別途説明により意見を聴取

対 象:首都高速晴海線の再評価  
高速横浜環状北線の再評価

議 事:

1. 再評価について:再評価の制度について事務局より説明。
2. 審議:対応方針については原案通り「事業継続」了承。

(主な意見)

### 1. 首都高速晴海線

・特になし。

### 2. 高速横浜環状北線

- ・生活道路改善効果など周辺への影響についても、今後説明資料に加えた方が良い。
- ・3号渋谷線、保土ヶ谷バイパスが混雑しており、横浜環状北西線と横浜環状北線が厚木方面から東京方面への経路として有用な路線であることから、早期整備を期待する。
- ・また、一般ドライバーが要望している街路の混雑緩和に寄与する、必要性の高い路線であると思われるため、早期整備を期待する。

### 3. その他

- ・事故発生時のリダンダンシーの評価を今後検討すべき。評価指標は定時性とし、算出にあたっては、通常時と時間価値が異なることに留意すること。
- ・対象2路線とも重要な路線であり、住民視点を踏まえた丁寧な説明と意見交換を引き続き行ってもらいたい。
- ・本事業評価とは別に、周辺開発や公共交通等も含めた総合的なマスタープラン等をチェックする仕組みも必要ではないか。